

## 中能登町 碁石ヶ峰クラフトマーケット

地域ブランディング研究会（金沢大学）

宮地麗奈、林沙歩、岡戸悠、桑原璃奈、川崎晴香、神田としみ、奥川千嵯知、五十嵐彬宏

### 1 地域活動の概要

能登地方の中でも海に面していなく、目玉となる観光資源のない中能登町であるが、この町にある碁石ヶ峰には豊かな自然が残っており、町の魅力の一つである。この魅力を多くの人に伝え、新たな観光資源として、今年初めて「碁石ヶ峰クラフトマーケット」を開催した。地元の有志から成る実行委員の方と共に、私たち学生は、学生の目線から、イベントをよりよくするために意見出しや当日の運営、サポートを行った。

### 2 地域活動の具体的な内容

8月25日・26日に第一回碁石ヶ峰クラフトマーケットを実施した。前日から地元の実行委員の方々と学生で、会場準備を行い、当日実行委員は約10名、学生は9名携わり、学生は主に実行委員のドリンク販売補助、来場者アンケートを行った。地元の実行委員の方々は会議を重ね、学生も外部の意見出しという役割で参加した。さらに実行委員の方と一緒に能登でのPR活動や、各々広報活動をした。また、イベントの成果、アンケート結果を中能登町長に実行委員の方と共に報告した。



### 3 地域活動の評価

自然豊かな碁石ヶ峰で行われるクラフトマーケットは、とても雰囲気がよく美しい景観であり、碁石ヶ峰の豊かな自然をよりよい形で、来場者に伝えることができ良かった。

### 4 今後、この地域活動を継続、活発にしていくために必要なもの、及び課題

今回のクラフトマーケットへの来場者は、能登地方の方がほとんどであり、金沢市や地元の中能登町からの来場者が少なかった。さらに調査の結果、経済効果もあまりなかったため、次回は活発なPR活動が必要である。

### 5 学生の感想

初めてのイベントに携わり、地域の方々と協力できたこと、中能登町の良さを伝え、知ることができてとても嬉しく思う。

### 6 地域からの評価

中能登町で初めて開催する碁石ヶ峰クラフトマーケットにおいて、学生の皆さんには、来場者や出展者、スタッフや行政の間を「つなぐ」大きな役割を担ってもらい、中能登町の地域活性化に多大なる貢献をいただきました。